

# 区が目指すまちづくりについて

## <都市計画マスタープラン>

第2回 練馬区立大泉第二中学校の教育環境保全および  
都市計画道路の整備に関する有識者委員会

# 1 まちの現状と課題等

## モデルなき成熟社会を迎えて

新しい成熟都市の実現をめざし、  
住宅都市として都心に近い利便性  
と豊かなみどりを活かし、安全で  
快適な魅力ある都市空間を形成

人口構造の変化  
→人口減少・高齢化

土地利用の変化  
→良好な住宅都市を維持

都市基盤等の整備状況  
→都市基盤の整備は不十分

## まちづくりの課題

密集住宅市街地の改善、  
都市型水害対策

都市計画道路の整備促進、  
鉄道の整備推進

鉄道駅周辺の整備

みどりの保全と創出、  
都市農地の保全

自立分散型エネルギー社会の実現

## 2 まちの将来像

### ■まちの将来像

都心に近い利便性とみどり豊かな環境、多彩な地域資源を活かしたまちづくりを進め、新しい成熟社会における住宅都市としての可能性を発展させます。

子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすく住み続けたい、住宅都市を目指します。

### ま ち の 将 来 像

暮らし続けたい みどりあふれる 快適な住宅都市

～新しい成熟都市・練馬をめざして～

# 3 将来都市構造図

## ■都市のネットワーク

移動の円滑化、環境、防災性の向上を図るため、鉄道・道路ネットワークを形成します。

## ■みどりのネットワーク

みどりの軸（河川・都市計画道路）とみどりの拠点（公園・緑地）によるネットワークを形成します。

将来都市構造図

●都市軸  
広域的な移動を支える都市計画道路（放射・環状道路など）

●主要な交通軸  
地域間の移動を支え、生活圏を構成する都市計画道路（補助線道路） など

●補助135号線⇒都市軸

●補助232号線⇒主要な交通軸

に位置付けています。

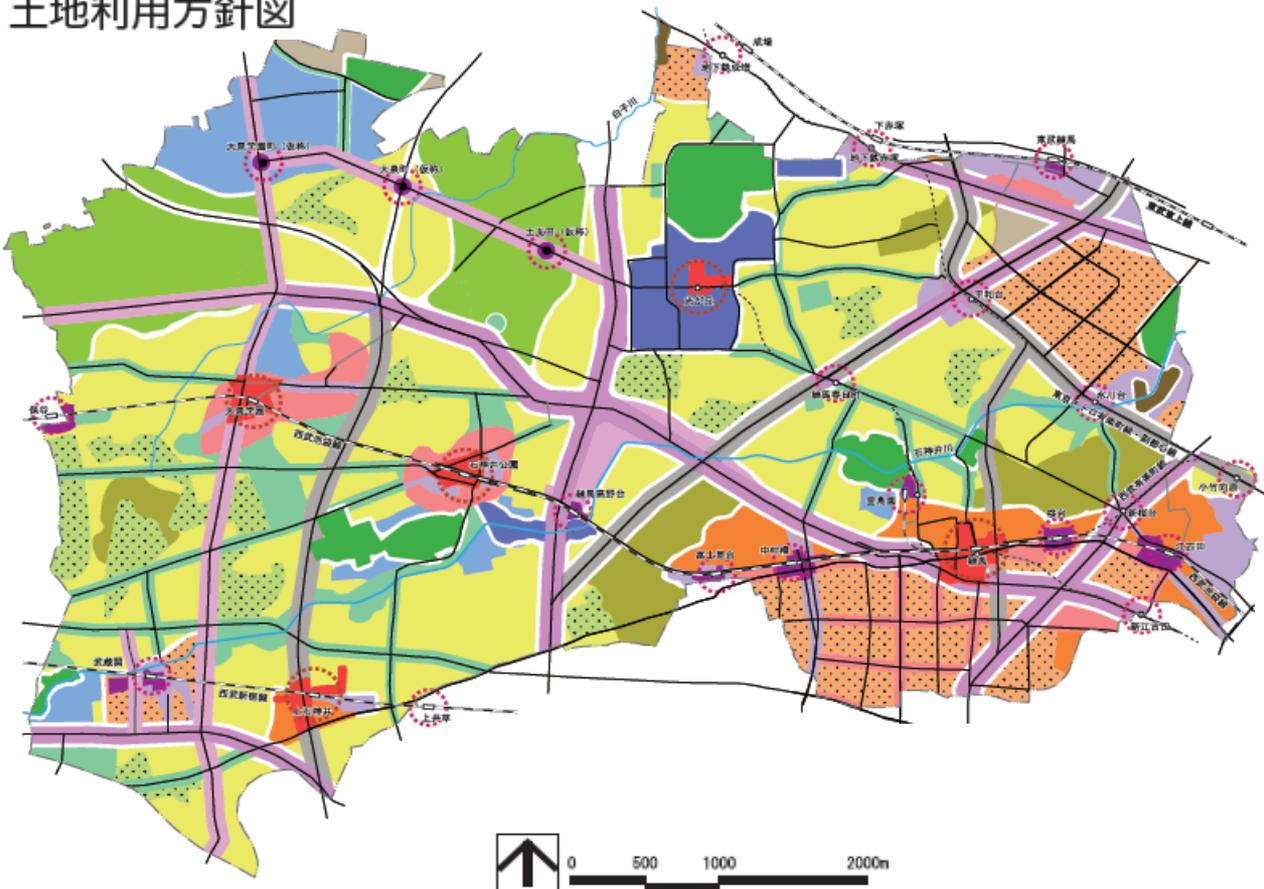


# 4 土地利用方針

## ■土地利用の方針

将来都市構造に基づき、地域特性に応じた土地利用を促します。

土地利用方針図



### 《住宅系土地利用》

農業・住居複合地区	一般住宅地区	都市型住宅地区
農住共存地区	戸建住宅地区	都市型集合地区
	住環境保全地区	都市型誘導地区
	低層住宅地区	住商工共存地区
	低層集合地区	中層地区
	中低層地区	集合団地区

### 《非住宅系土地利用》

商業・業務系地区	幹線沿道地区	その他
商業業務地区	都市型沿道地区	工業系地区
商業誘導地区	沿道利用地区	大規模公園等
	沿道環境地区	大規模公共施設

- 商業・業務拠点 (中心核・地域拠点)
- 生活拠点
- 生活拠点候補
- 鉄道駅
- 地下鉄駅
- 地下鉄駅(候補)

## 5 まちづくりの重点的な取組

### (1) 災害に強い安全なまちづくり

- 建築物の耐震化や不燃化、水害対策の強化などで、災害に強い安心して住めるまちづくりを進めます。

### (2) 鉄道、道路などインフラの整備

- 鉄道や道路は快適な都市生活を支え、区民の日常生活に必要不可欠です。快適な住宅都市をめざし、これからの練馬区の発展を支える交通ネットワークの実現を図ります。

### (3) 地域生活を支える駅周辺のまちづくり

- 日常生活を支える拠点となる駅周辺では、交通広場やアクセス道路、他の交通機関への乗り換えサービスを備えた、交通結節機能の向上が必要です。便利で賑わいのある商業環境、地域住民等の交流の場を備えた駅前空間、公共的なサービスの提供などによる、生活の中心としての生活利便機能の充実も重要です。

### (4) みどりあふれるまちづくり

- 快適な生活を送る上で、必要不可欠なみどりを守り、さらに増やす整備を進めます。

### (5) 環境に配慮したまちづくり

- 基礎的自治体においても、災害時のエネルギーセキュリティの確保と平時の自立分散型エネルギー社会の実現という視点に立った、エネルギー政策の展開が必要です。